

平成30年中の交通事故発生状況

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛 知 県	35,258	△ 3,857	189	△ 11	42,548	△ 5,284
稲 沢 市	452	4	4	1	514	△ 28

【愛知県の状況】

平成30年の人身事故件数は、平成29年より3,857件少ない35,258件となり、9.9%の減少となりました。交通事故死者数は189人（同11人減）と減少しましたが、依然として全国ワースト1位であり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通事故死亡事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者（65歳以上）が103人（同7人減）、一般（25～64歳）が64人（同10人減）、若者（16～24歳）が17人（同5人増）、子ども（15歳以下）が5人（同1人増）となっており、高齢者の割合が全体の5割以上を占めています。

当事者別では、歩行者が69人（同14人減）、四輪車が42人（同5人減）、自転車が36人（同1人増）、自動二輪が29人（同9人増）、原動機付自転車が12人（同2人増）の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【稲沢市の状況】

平成30年の人身事故件数は、平成29年より4件多い452件、負傷者数は、平成29年より28人少ない514人となりました。交通事故死者数は、平成29年より1人多い4人でした。

〔交通事故の主な特徴〕

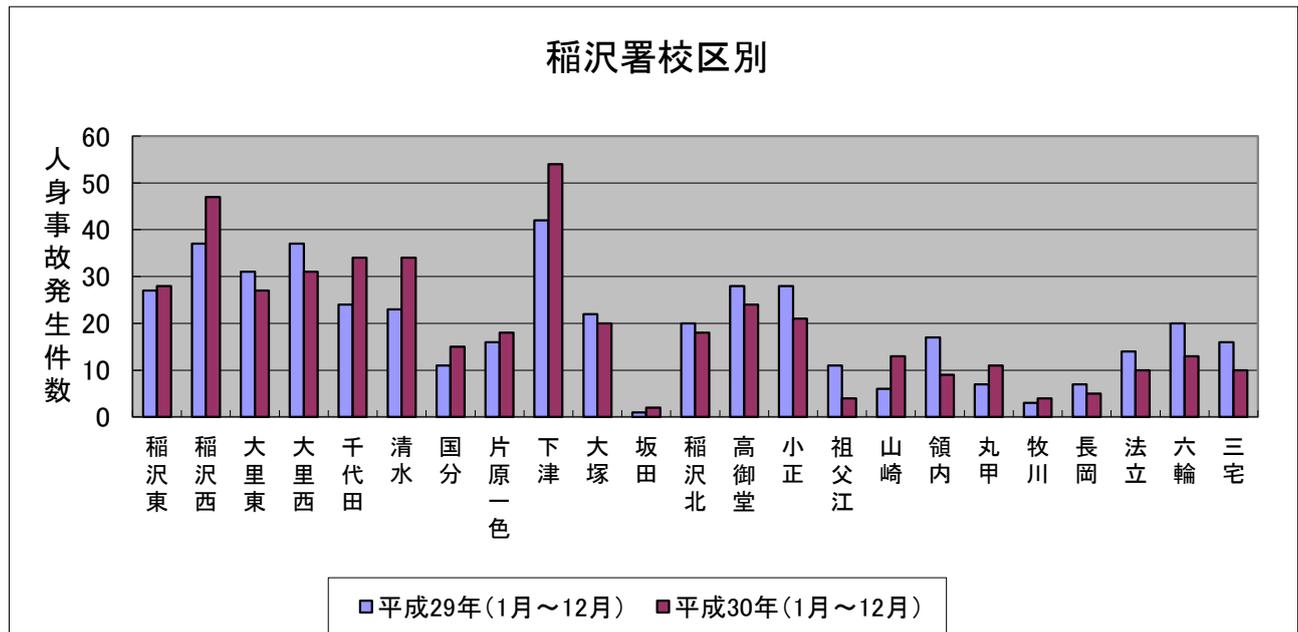
交通事故でなくなられた方4人とも70歳以上の高齢者でした。

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約70%を占めています。

また、自動車どうしの事故が283件（同12件増）と最も多く、次いで自転車対車両の事故が91件（同9件増）となっております。

地域別では、稲沢373件（同26件増）、祖父江46件（同5件減）、平和33件（同17減）となっております。

小学校区別では、下津、稲沢西の順で発生件数が多く、稲沢東、稲沢西、千代田、清水、国分、片原一色、下津、坂田、山崎、丸甲、牧川が前年に比べ増加しています。



【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・夜間の外出には、明るい目立つ色の衣服や反射材を着用しましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。



安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。